

江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会の在り方について

1 本協議会の位置付けと今後の在り方について

(1) 新たな協議機関の設置について

本協議会は、江別版「生涯活躍のまち」構想の実現のための具体的な取組を定めた「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」の策定及び進捗管理を行うために設置されたものですが、本形成事業計画で定めているK P I（重要業績評価指標）の進捗管理は令和5年度分までで終了となります。

市としては、事業者公募の際に（福）日本介護事業団から提出された事業計画書の内容を踏まえ、ココルクえべつ内に新たに設置する常設の協議機関へ江別版「生涯活躍のまち」構想実現に向けた意見交換の場を移行し、本協議会は現委員の任期である令和7年2月をもって解散することを想定しています。

(2) 背景

- ・「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」上のK P I（重要業績評価指標）進捗管理が令和5年度分で終了すること。
- ・拠点地域である「ココルクえべつ」には、令和3年のオープン以来、毎年10万人以上の方が来訪するなど、江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた地域交流の取組は、一定程度安定していると考えられること。
- ・5年間のK P I（重要業績評価指標）の進捗状況を見ると、5年間の目標は達成されていること。

2 新しい協議機関の方向性

(1) 協議機関の規模（人数）

10名程度の規模を想定（具体的で密な意見交換ができる人数）

(2) 協議機関の構成員

- ・「生涯活躍のまち」構想を踏まえ、産学官及び地域住民との連携を想定
- ・具体的な構成員（団体）等は、次回の本協議会で提示する予定（運営法人において検討中）

3 今後のスケジュール

令和7年2月頃：令和6年度第2回地域再生協議会

令和7年9月頃：新たな協議機関による協議開始

（参考：江別市生涯活躍のまち整備事業 事業計画書（抜粋））

①常設の協議機関の設置

（仮称）江別市生涯活躍のまち稼働後も、地域住民や大学、商店街、関係団体などとの協議を継続するため常設の協議機関を設置します。

本計画策定後も、特にソフト事業については、常設される予定の協議機関をはじめとする地域の方のご意見やアイデアをお聞きしながら、具体的な取組を進めていきます。